

滋賀の文化情報誌

デュエット

Duet

2025 春 vol.152

特集

守山市伊勢遺跡史跡公園

私の出版体験

『Live with parkinson カルタ』

奇妙な症状をカルタで共有、
そして笑って過ごしましょ

INFORMATION STATION 催し案内 2025 春

MYBOOK 自費出版物の紹介

SUNRISE BOOK PRESS サンライズ出版の新刊案内

特集

守山市伊勢遺跡史跡公園

遺構展示施設の内部。天井は、凸凹に加工されたスギの無垢材が組み合わされている

守山市の南端に位置する伊勢遺跡は、弥生時代後期の大型建物跡が13棟も発見され、平成24年(2012)、国の史跡に指定されました。遺構の保存も兼ねたドーム型の遺構展示施設を備え、令和5年(2023)11月に開園した伊勢遺跡史跡公園で、設置までの経緯と展示内容をお聞きしました。



■ 守山市伊勢遺跡史跡公園

住 所 守山市伊勢町80

連絡先 TEL・FAX 077(599)3223

休館日 火曜日、祝日の翌日、年末年始

入館料 無料

駐車場 20台(入って右手の多目的広場に駐車可)

アクセス JR琵琶湖線「栗東駅」から徒歩15分、「守山駅」から徒歩25分。
名神高速道路「栗東IC」から車で10分



取材／編集部 写真／辻村耕司



倭国という国をつくっていく過程で、起点に なった遺跡ではないかと考えられています。

服部遺跡の経験から取り組んだ遺跡の保存

— まずはお二方の伊勢遺跡との関わりからお話をいただけますか。

伴野 私は生まれが愛媛県で、大学進学で京都に来て、学生時代から滋賀県に埋蔵文化財の発掘のアルバイトに来ていたんです。その後、守山市の文化財保護課で遺跡の発掘にたずさわり、守山市立埋蔵文化財センターにいた時期もあります。

中井 私は伴野さんより一回り上の世代で、昭和50年代後半、伴野さんが埋蔵文化財センターにいらっしゃる一年ぐらい前から出土品を整理し、実測図を描く仕事をしていました。40年以上にもなりました。

絵を描いていたので、二科展などへ出品するための費用を稼ぐために勤め始め、土器などをモチーフにした抽象画なども描いたりできたのが魅力でした。

伴野 中井さんは、伊勢遺跡だけではなく守山市内の遺跡で生活が営まれていた当時の想像図をお描きになっていて、ネットでそれぞれの遺跡のサイトを見にいくとご覧いただけます。今はNPO法人守山弥生遺跡研究会の理事もされています。

中井 **※1** 当時のようすの復元図などですね。

イラストはあんまり得意ではないのですが、何もないものを想像して描くとなると誰でもできるというわけではないようだったので、担当させていただくようになりました。

— 守山市には、北から順に、服部^{はうぶ}下之郷^{しものごう}、この伊勢遺跡と、主要な三つの遺跡があり、それぞれに展示施設ができてきたのですね。

伴野 そうです。服部遺跡の場合は、昭和49年（1974）、当時の建設省が進めていた野洲川改修^{※2}という大事業の工事中に見つかった、4年半にわたって発掘調査をしました。縄文時代から連綿と、弥生時代、古墳時代、そして奈良時代まで続く大遺跡です。おそらく日本で最大の遺跡だと思います。

— それほどですか。

伴野 全長が2 km以上あるような遺跡は国内に例がありません。とても大きな

守山市内の主な遺跡の時代と特徴

暦年代	時代	遺跡名	特徴
BC500	前期	服部遺跡	大規模な水田
BC200	中期	下之郷遺跡	環濠集落の形成
AD100	後期	伊勢遺跡	大型建物群が造営される
AD200	古墳時代 初頭 前期 中期	下長遺跡	多くの威儀具を有する

※1 NPO法人守山弥生遺跡研究会 平成26年（2014）設立。野洲川下流域の弥生遺跡の全国に向けた情報発信などを行っている。

※2 野洲川改修 野洲川は台風による堤防の決壊で多数の家屋が流出する水害をたびたび起こしていたため、昭和43年（1968）から南北2本に分かれていた下流部を1本化する改修事業が進められ、昭和56年（1981）に新放水路が通水した。

な水田域を維持して、近江の発展を支えたと思っています。

ですが、その遺跡は保存できませんでした。当時、文化財行政が建設省など対立する形になったのですが、最終的には野洲川という暴れ川から人命を守るために工事が続行され、残念ながら、日本を代表する弥生時代の遺跡は野洲川放水路の下に埋まり、国の史跡にもできませんでした。大量の出土品を収蔵・展示する市立埋蔵文化財センターは昭和55年（1980）に開館したものです。

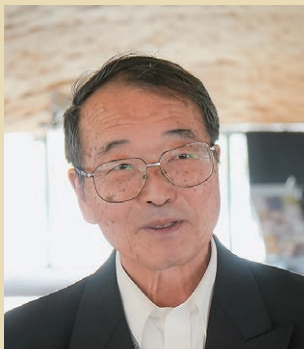
この経験を教訓に、重要な遺跡は保存する方法を考えるようになりました。昭和55年に見つかり、調査が進んでいた下之郷遺跡は、平成14年（2002）に国の史跡指定を受けて、平成22年（2010）に下之郷史跡公園ができました。環濠^{かんこう}をとまなう



NPO法人守山弥生遺跡研究会 理事
伊勢遺跡研究会 会員

中井純子さん

なかい・じゅんこ／1949年、熊本県生まれ。



守山市伊勢遺跡史跡公園 所長

伴野幸一さん

ばんの・こういち／1960年、愛媛県生まれ。守山市教育委員会事務局文化財保護課と兼務。

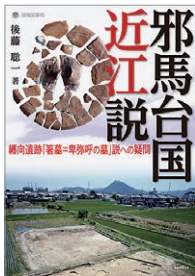
史跡公園は、先行事例として大阪府の池上
曾根遺跡や奈良県の唐古・鍵遺跡がありま
すが、全国的にも非常に珍しいものです。
遺跡の広がりを実感していただくためにも
環濠の復元は適切だったと思います。

そして、下之郷遺跡と同時に見つかつ
ていた伊勢遺跡は、その後、平成24年
(2012)に国の史跡に指定され、それ
から10年後にこの史跡公園ができたこと
になります。

**大型建物群は発見当時、非常に話題に
なりましたね。『魏志倭人伝』に記された
邪馬台国ではないかという説もあったり。**

伴野 この伊勢遺跡が保存と整備につ
ながった一つのきっかけは、平成22年
(2010)にお二人の著者によって『邪
馬台国近江説』という同じタイトルの本が
ほぼ同時に出版され、大きな話題になっ
たことでした。

守山商工会議所が翌年から「もりやま卑
弥呼コンテスト(ひみコン)」を毎年開催
するなど、青年部の人たちが非常に活発に
活動なさるようになりました。こうした市
民の活動を受けて、守山市も遺跡の保存と
国の史跡とすることを目標に動き始め、非
常に短期間で国の史跡化がかないました。



『邪馬台国近江説
—纏向遺跡「箸墓＝卑弥呼
の墓」説への疑問—』
後藤聡一 著
(サンライズ出版)



『邪馬台国近江説
—古代近江の点と線—』
澤井良介 著
(幻冬舎ルネッサンス)

※3 環濠 集落の
周囲にめぐらさ
れた濠。

↓ 下之郷遺跡 史跡
公園の復元環濠
(守山市教育委員
会提供)



伊勢遺跡の場合、地権者の方をふくめた
地元の皆さんが高い見識をお持ちだったこ
とも助けになりました。

**周囲は住宅や工場など市街地化が進ん
でいますからね。**

伴野 平成4年(1992)に、中心部に
大きな建物跡が見つかり、これは日本の歴
史を考えるうえで重要な遺跡なんだとい
うことがわかって以降、地権者の方々がいろ
いろな開発の誘いを全部断つてくださった
んです。史跡指定された平成24年までの20
年間ですから、よく辛抱していただいたと
思います。

同時に遺跡が位置する伊勢町と阿村町あむらの
有志の皆さんが、「伊勢遺跡保存会」を立
ち上げ、史跡の保存と活用について市と一
緒に取り組んでいただきました。

中井 たまたまですが、私は伊勢町の住民
だったので、参加しました。

伴野 現在も運営と展示に保存会の皆さん
にも関わっていただいています。土曜日・
日曜日・祝日は、保存会の会員が来訪者へ
のガイダンス(案内と説明)を担当するか
たちです。地元の方々が保存活動に関わっ
ている遺跡保存施設は、あまり例がないの

ではないでしょうか。

中井 伊勢遺跡は、発掘調査の後半でした
が平成7年(1995)ぐらいから整理作
業を担当するようになっていました。

周囲は田んぼばかりだった当時の発掘
現場で、調査中の伴野さんが、「この田
んぼが公園になったらいいと思いませんか？」とおっしゃったのを覚えています。

私は、「なんか寝ぼけたことを言ってるな」
ぐらいにしか思いませんでした。どんな
開発が進んでいたのか、大急ぎで史跡指定
されれば、広い公園ができますよという話
を聞いても、最初は半信半疑だったんです。

伴野 平成3年(1991)に栗東駅が開
業してから、急速に開発が進んで、人口が
増えていったんですね。以前、中井さんた
ちと一緒に三上山に登って、山頂から伊勢
町の方を見ると遺跡の周囲はビルや住宅街
だらけになっていて、この地域に住む子ど
もたちは、どこで遊ぶんだろうと思ったこ
とがあるんです。地域の子育て世帯の方た
ちが安心して子どもを遊ばせることができ
る場所を提供すれば、そこで遊んだ子ども
たちは将来、遺跡自体にも関心を持つてく
れるだろうと考えたわけです。

中井 最初から伴野さんは「役所がつくつ
た役所だけのものにはしたくない」とおっ
しゃっていて、地域住民、行政、周辺企業
などが連携できるよう、調整役として動い
てくださっていましたね。

伴野 展示や運営も、地域の方々に入って
いただいて、一緒にやっていこうという計
画を立てて進めました。

プロポーザルの基準は斬新な建築と映像展示の両立

—そして、一昨年の11月12日にオープン
なされたわけですね。来館者の方は、やは
り考古学ファンが多いのですか。

伴野 いいえ、地域の方が多いのと、今
は建築関係の方が多いですね。

中井 この斬新なデザインと工法を見るた



『伊勢遺跡と卑弥呼の共立』伴野幸一・森岡秀人・大橋信弥 著
(吉川弘文館)

めに。

伴野 今日も東北や大阪から来られていました。埋蔵文化財だけを間口にすると、対象が非常に狭くなってしまいうので、施設の計画を立てるときの、プロポーザル（企画競争入札）も、斬新な建築と映像展示を両立させたものという基準で、全国から提案をいただくようにしました。

国の史跡の中心部にこうした施設をつくる例は、これまでありませんでした。そもそも、文化庁が許していなかったからです。説得のために、3年ぐらい文化庁へ行っては帰って、行つては帰つてを繰り返していたところ、4、5年前に文化庁側が「保存」一辺倒だった方針を、「保存と活用」に転換したんです。

そのため要望どおりに許可がいただけ、プロポーザルの際は、今後の文化財の活用の一つの先例になるということもあり、多くの建築家から案を出してもらうことができました。最終的に決まったのが、京都大学教授でもある建築家の平田晃久さんの建築設計事務所による案でした。次点が隈研吾さんの設計事務所でした。

※4 建築関係の賞を受賞し、建築雑誌などでも紹介されたそうです。

中井 昨年12月に出版された『伊勢遺跡と卑弥呼の共立』という本でも、森岡秀人さんが「未来型の保存・普及施設であり、これまでの国史跡にはない大胆な発想や試みが伝わってくる」と絶賛しておられます。ただ、個人の意見ですが、デザイン重視

※4 「ウッドデザイン賞2024」の奨励賞（イフスタイルデザイン部門）と「令和6年度木材利用推進コンクール」優秀賞（優良施設部門）を受賞。

すぎて、使いにくい部分もあります。

伴野 先日も作業にあたった職人さんが来館なさって、「本当に大変やった」と話されていました。平田さんは海外でも著名な建築家なので、外国からいらっしゃる見学者もおられます。

中井 私も月に1回、案内役が回ってくるので、たくさんの方の来館者にお会いしました。東京など関東からも若い人がいらつしやいます。おもしろいのは、案内をしていると、パツと見た雰囲気かわかるんですよ。建築関係の方か、考古ファンの方か。建築関係の方は、上を見上げて熱心に木の組み合わせをご覧になるので、はっきりしますし。

伴野 考古系の文化財に詳しい人や専門家の方からすると、保存会の皆さんの説明は怪しい部分もあるかもしれないのですが、反論せずに聞いてくださっていますね。「それはワソやろう」というような話でも我慢強く。

主要建物群の中心に建ち天体観測に用いられた楼観

—— いったん屋外に出てきました。屋外展示から順にご説明いただけますか。

伴野 公園に入って右手の円柱が並んでいる場所は、楼観という建物があったところですよ。A（7ページの写真と平面図を参照以下同）。伊勢遺跡の主要な遺構群は、この楼観を中心とした半径10mの円の円周上から見つかっています。今は柱だけです。将来的には吉野ヶ里遺跡（佐賀県）などのように建物を復元できればいいなと思っています。

外側に4本ずつ並んでいる柱と、内側に

中井 われわれ素人の案内を黙って聞いてくださいます。しばらくしてから、「ひょっとして考古学の先生じゃないですか」と言ったら、「そうです」と大学名をおっしゃって、「しまった」と思ったり。

伴野 大学の先生も結構来ているんですよ。こないだも、ずっと保存会のお話を聞いておられる来館者を、なんか見た顔の人だなと思って出ていったら、新潟大学名誉教授の先生でした。

文化庁の職員の方なども、身元を明かさずいらつしやいますし。

中井 案内役の話し方などもふくめて、施設のようすを見にきておられますね。

伴野 逆にアマチュアの考古ファンの人は、自分の意見を聞いてほしい感じが出るし。**中井** そうです。自分で研究した人は、こちらの話を奪って、全部説明してください。最後にはこちらが、「えっ、そうなんですか!？」と感心しながら聞いているようなこともあったり（笑）。

伴野 地域の人たちが説明役をしていると、知識も増えて、だんだんなじんでくるので、大事なことだと思っています。



↑楼観の復元図（中井純子作画）

→楼観とされる建物の柱穴の配置
3本ずつ並んでいる柱は少しずれています。つまり、1階部分の外側と2階建ちの内側

を支えている柱が独立している、複層式の建物だったということです。こうした構造の建物が現れるのは奈良時代からとされており、弥生時代のものとしては初例だと思います。

また、柱の並びはそれぞれの辺が東西南北に沿っています。そのため、楼観の2階部分に上がって、夜に真北を見ると、北極星が見えるわけですね。春分の日と秋分の日

政治や祭りをを行うために特化した遺跡

—— 続いて、改めてドーム状の遺構展示施設についてお願いします。

伴野 周りが住宅街なので、展示施設の高さは4・6 m以下に抑えて、周囲への圧迫感がないように配慮されています。反対に地面の側は、建築によって地下の遺跡が傷まないように、全体に土をかき上げしてあるので、緩やかに盛り上がっているのがわかると思います。

中に入ってくると、このドーム状の天井がガラス面に映って、トンネルのように見えます。現在から古代の世界に入っていくような効果を演出しています。

入ってすぐの所で、野洲川流域の主要な遺跡について、それぞれの出土品とともに解説しています **B**。

弥生時代前期からの服部遺跡で水田ができ、米づくりが早くから発達しました。その後、内陸に向かって開発が進んできて、中期の下之郷遺跡では村を三重に囲む濠^{ほり}ができ、「防御された村」の姿を見ることができます。

それが後期の伊勢遺跡では防御施設がなくなり、この時代には村同士の争いはなくなり、一つの大きな国に統合されていた動きを示しているといえます。伊勢遺跡からは、戦うための武器にあたるもの

日は、真東から太陽が上がってきます。曆をつくるためには、こうした天体を観測するような施設が必要でした。

日本や中国の古代国家の大事な役割の一つは暦づくりで、国民に季節や種まきの時期、毎日の時刻を知らせることも、重要な事業だったわけですね。伊勢遺跡の場所にはそうした機能を備えた施設があったということです。

もまったく見つかっていません。

—— 伊勢遺跡の最後の頃は、古墳時代にもかかっているんですね。

伴野 古墳時代へ移り、日本全体が一つの「倭国」と呼ばれる国になっていく、その直前に伊勢遺跡は出現しています。ここで東西の王たちの協議のもと、邪馬台国の女王・卑弥呼が初代の女王として擁立された可能性もなくはありませんが、邪馬台国そのものの時代ではないということです。日本全体で見ると、伊勢遺跡の終盤ぐらいの時期に、邪馬台国候補地として有名な奈良県の纏向遺跡^{まきむけ}が出現しています。

続く古墳時代初期の遺跡として、西に下長遺跡^{なが}が見つかっており、王の居館や王の権威を示す道具類が出土しています。こうした経緯から伊勢遺跡は、東西日本を結びつけて、倭国という国をつくっていく過程で、一つの起点になった遺跡ではないかと考えられています。

伊勢遺跡が発見された当初は、まさに邪馬台国の時代というのが学会の定説だったのですが、現在は邪馬台国が誕生する直前の社会だと考えられています。「邪馬台国近江説」を唱える本が出版された頃とは、時期区分が大きく変わったわけですね。

詳細については、先ほどもお話に出た私

も執筆者の一人になっている『伊勢遺跡と卑弥呼の共立』をお読みいただければと思います。

—— 次に地面に柱穴が開いています。ガラスに乗る、一歩目は少しためらいますね。

伴野 伊勢遺跡の中心に当たる主殿の跡で、強化ガラスを張って、上から柱穴のレプリカ^Cを見ていただく形になっています。その下には実際の柱穴遺構が保存されています。

ちょうど壁面に映写される解説動画^Dが始まったところですね。7分ぐらいで終わるので、どうぞご覧ください。

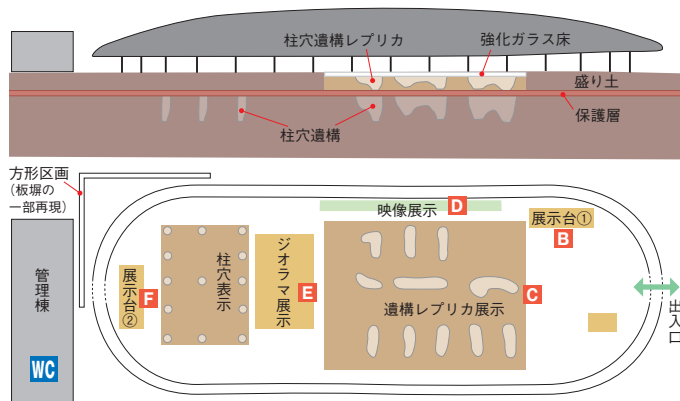
—— (イスに座って鑑賞)

伴野 いま見ていただいた映像のCGは、神戸大学の黒田龍二先生の設計図をもとに製作されています。それを参考に伊勢遺跡保存会の方々が3年がかりで作られたのが、その奥に置かれているジオラマ^Eで、120分の1サイズです。

伊勢遺跡全体は、東西約700 m、南北約450 mの栗東市にもまたがる範囲ですが、ジオラマでは当公園周辺にあたる遺跡の中心部が再現されています。

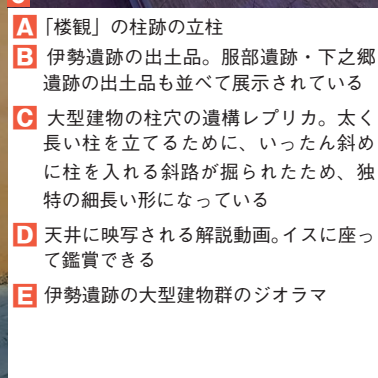
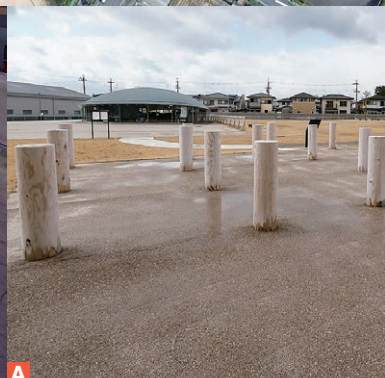
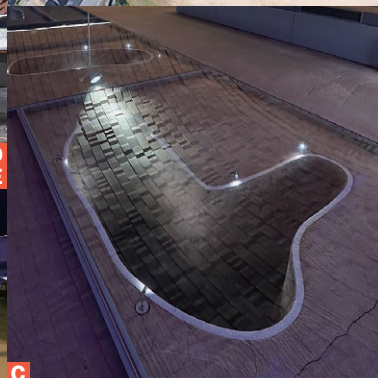
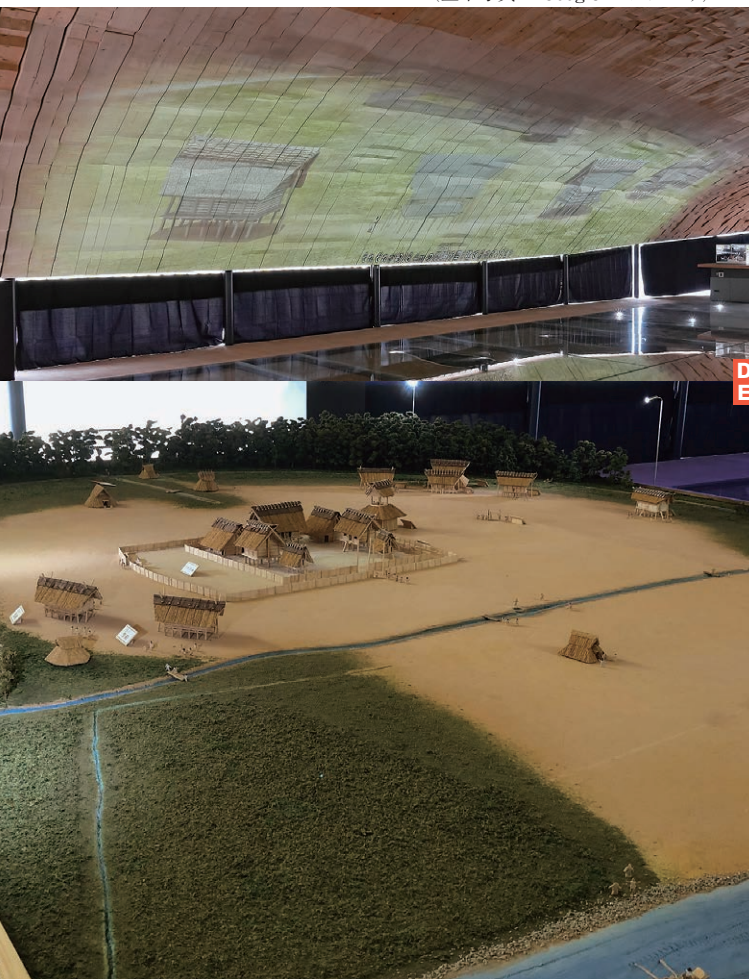


↑発掘調査時の伊勢遺跡の主殿遺構。この上に遺構展示施設が建っている
(寿福滋撮影、守山市教育委員会提供)



↑遺構展示施設の側面・平面図

伊勢遺跡史跡公園と伊勢遺跡中心部
(空中写真は Google マップより)



- A** 「楼観」の柱跡の立柱
- B** 伊勢遺跡の出土品。服部遺跡・下之郷遺跡の出土品も並べて展示されている
- C** 大型建物の柱穴の遺構レプリカ。太く長い柱を立てるために、いったん斜めに柱を入れる斜路が掘られたため、独特の細長い形になっている
- D** 天井に映写される解説動画。イスに座って鑑賞できる
- E** 伊勢遺跡の大型建物群のジオラマ

とても精巧に作っていただき、視察にいらした文化庁の方も業者に発注したら、数千万円かかるとおっしゃっていました。

——南に、大きめの川と人が乗った船も再現されていますね。

伴野 細い川の南に川幅の広い野洲川の支流の跡が見つかっているので、おそらくそこまで船が行き来していました。ヒノキの柱が出土していて、切り出したヒノキの柱を筏に組んで流してきたと考えられます。ヒノキの柱の根元が突起状に加工してあり、そこに縄を掛けて引き上げたものと考えられています。

中心に再現されているのが、ガラス面の下にある建物です。その少し東に建っている2階建てが、屋外に柱が再現されている楼観です。板塀で二重に囲まれた中に、L字形に大型建物が計画的に配置されていました。南側に入口がある方形区画の中に建物が配置されているのは、規模は違いますが、後の藤原宮や平城宮のような政治を執り行う場と共通しています。

方形区画の中央には、建物の前に南面する庭があります。南面する建物の前に設けられた大きな庭に、朝、臣下を集めて指示を出すための場所が「朝庭」で、のちには天皇を中心として政務を行う場Ⅱ「朝廷」となります。こうした語義にのっとった施設が弥生時代後期に存在したことが、二つ目の驚きでした。

二つ目の驚きは、楼観を中心にして半径約10mの円の円周上に配置された大型建物が見つかったことです。まだ調査ができていないところもあるので、現在見つかった建物の配置は、こういう配置になっています。

円形に配置するため、隣同士で棟を約13度ずつ内側に傾けてあります。円周上の反



↑ジオラマで再現されている野洲川支流を用いたヒノキ材の輸送

対側どうしでそうなっているので、角度と距離をちゃんと計測して配置してあるとわかります。

これらの大型建物は、独立棟持柱建物と呼ばれる構造です。現在で言えば、伊勢

伊勢遺跡の次の時代の遺跡から次々に見つかった威儀具

——一番奥に、もう一度出土品などの展示Fがあります。

伴野 伊勢遺跡の次の時代に現れる下長遺跡の解説です。西方にあった下長遺跡は、まさに纏向遺跡とほぼ同時代、つまり邪馬台国の時代にあたります。伊勢遺跡と同じ



→下長遺跡から出土した儀仗。
写真の下が上部の飾り
↓八ノ坪遺跡から出土した立飾
りを元に復元された蓋



※5 独立棟持柱建物 棟木の両端を支える柱が建物の壁の外側に立つ構造をしている。

※6 蓋 王や豪族に従者が差しかける柄の長い日傘。遠くからでも目立つ飾りがついていた。

神宮の正殿がこういう形をしています。

これだけの施設ですので、祭祀や政を行う場を維持するために出仕している人たちがいて、近くに住んでいたはずなんです。お墓が周辺から見つかっていません。亡くなれば、おそらく出身の村に遺体が戻されて埋葬されたのではないのでしょうか。

水田などの生産の跡がない、生活の場だった形跡がない、お墓がないという点から、通常の集落とは異なります。これらのことから、伊勢遺跡は政治や祭祀を行うために特化した遺跡であったと考えられています。

ような大型の独立棟持柱建物の跡とともに、身分の高い人物が用いる威儀具が多数出土したことが特徴です。

王が儀式に使っていた儀仗と呼ばれる道具の完形品は、今のところ全国唯一の出土例です。古墳の天皇や大王の棺の中に30cmぐらいのミニチュアの儀仗が納められていました。ようやくこれで、本物は木製だったとわかりました。

市内の八ノ坪遺跡からは蓋の上部に取り付けられた立飾りという部分が出土しました。これも木製の本物の全国初の出土例です。近畿圏では200mを超す古墳に埋葬される大王には、これを土で模した蓋形埴輪が埋納されていることが多いですね。

伊勢遺跡の時代の後、古墳時代に王権が成立するに至る一連の流れが、守山市内の遺跡を用いてわかるようになっていきます。

本日は興味深いお話をありがとうございました。
(2025.3.19)

『Livewith Parkinson パーキンソンと共に生きる』

守屋富美子さん

失意のどん底で出会った仲間たち

パーキンソン病を宣告されてから、10年間のキャリアを生かし、会社の仲間に支えられながらも仕事を続けた守屋さんですが、これまでと同じように仕事をこなせないジレンマがありました。そんな折、初めての入院治療で同じ病気を持つ多くの仲間に出会い、人によりさまざまな症状があることを知りました。これをきっかけに、病氣と前向きに付き合うことを決意、それがカルタだったのです。制作にあたって、読み札の文言や絵札のイラスト、色付けなど多くの仲間に支えられ、助けてもらい完成しました。

普通のカルタとちょっと違う仕様

今回のカルタは普通のカルタより2倍大きなサイズ（131mm×95mm）です。これは患者は「振戦」といつて自分の意志とは関係なく手足が震える

作者プロフィール

もりや・ふみこ 1971年、大阪府生まれ。同志社大学卒業後、外資系ホテルで働いていた40歳の時、パーキンソン病と診断される。1000人に1〜1.5人といわれるこの難病を、カルタで伝えたいと制作した。

る症状が出るために大きくなりました。

またカルタには絵札と読み札がありますが、絵札の裏にも症状などの説明と「富美子のつぶやき」が書かれています。このつぶやきは「みんなポジティブに生きていこうよ」という守屋さんのメッセージでもあります。これまでに何度かカルタ大会が開催されていますが、仲間たちからは「あるあるだね」「作ってくれた守屋さんに感謝します」という声が寄せられているとのことでした。

ひとりでも多くの人に知ってほしい

カルタ制作の意図は患者のみならず、家族、友人、福祉・医療関係の方々に病氣のことを知ってもらい一助でした。大学関係者や医療従事者の方からも「わかりやすく作られている」と言われたそうです。

販売もされていますので、お問い合わせて、ご注文は下記メールアドレスへお願いします。

仲間にカルタを紹介する守屋さん

Livewith Parkinson パーキンソンと共に生きる

購入・お問い合わせ先 E-mail: livewithparkinson1@gmail.com

1セット 1,000円(税込) ※送料着払い



令和7年度春季講演会

「魅力発見！守山市の文化財
—美術工芸品—」

5月17日(土) 14:00～

講師：井上ひろ美 氏（守山市文化財保護審議会
委員・文化遺産プランニング代表）

お申込み：4月16日(木) 受付開始

令和7年度歴史入門講座

①講「横江遺跡 令和の大発掘」

6月21日(土) 10:00～

講師：小林裕孝 氏（滋賀県文化財保護協会）

②講「藤原仲麻呂と近江」

7月19日(土) 10:00～

講師：田中久雄 氏（大津市文化財保護課）

お申込み：5月15日(木) 受付開始

会場：守山市立埋蔵文化財センター

定員：いずれも80名（事前の受講申込み要）

受講料：春季講演会…無料

歴史入門講座…200円／講

お問い合わせ／お申し込み先：TEL 077 (585) 4397

伝ノ丸東溜り出土瓦群
(滋賀県蔵)

■関連講座

「廃城以降から考える、安土城の歴史
と調査」〈全3回〉

各回13:30～15:00(受付は13:00から)

①「廃城後の安土城」5月10日(土)

講師：佐藤祐樹 (当館)

②「安土城 平成の調査」5月24日(土)

講師：岩橋隆浩 氏（滋賀県文化スポーツ部文化財保護課）

③「安土城 令和の調査」5月31日(土)

講師：松田篤 氏（滋賀県文化スポーツ部文化財保護課）

会場：滋賀県立安土城考古博物館

参加料：500円 定員：120名（先着順）

お問い合わせ：

TEL 0748 (46) 2424 FAX 0748 (46) 6140

休館日：月曜日（祝日は閉館）、4月30日(木)、5月7日(木)
お問い合わせ先：TEL 077 (587) 4410

特別企画展

シリーズ・やきもの×グルメⅡ
近江の古陶磁を味わう
…湖国の料理とともに

開催中～6月22日(日)

滋賀県立陶芸の森 陶芸館

湖東焼「色絵雲鶴文蓋付
向付」写真提供…兵主大
社 撮影…辻村耕司湖魚や近江野菜などを活かした湖国の
郷土料理と近江の古陶磁の競演を試みる
企画。近江の陶窯と料理を中心に、街道周
辺の名所などをあわせて紹介。旅気分で湖
国の魅力をお楽しみいただきます。入館料：一般750円、大学生560円、高校生以
下無料

休館日：月曜日（祝日の場合は開館し、翌平日休館）

■ギャラリートーク

4月27日(日)、5月25日(日) 13:30～

お申込み：不要（入場券要）

お問い合わせ先：TEL 0748 (83) 0909

令和7年度春季特別展

安土城築城450年・発掘調査85周年記念

安土城・2025

—信長の夢のあと—

4月26日(土)～6月15日(日)

滋賀県立安土城考古博物館

安土城は、信長が横死し、廃城となった
後も維持管理され、また調査・研究・整備
を通して後世へ遺されてきました。本展では安土城を歴史的に捉えるとい
う原点に戻り、廃城以降の安土城の変遷を
たどります。そして昭和、平成、令和と続
く発掘調査と整備の成果を紹介します。

入館料：大人970円・大学生700円・小中高生420円

休館日：5/7(木)・12月・19(月)・26(月)・6/2(月)・9(月)

春季テーマ展

浮世絵から知ろう！
江戸時代の出版事情

開催中～5月11日(日)

草津宿街道交流館

「諸国六玉河 近江野路之玉川」
歌川広重 版元：蔦屋重三郎
(草津市蔵)江戸時代の初め京都で始まった出版は、
江戸時代後半、旅の案内書「名所図会」
をヒットさせ、江戸へと広がりました。旅
の情緒、名所・旧跡、人気の絵師などで企
画を練った版元のあの手この手を、草津市
所蔵の浮世絵でご紹介します。

入館料：大人200円、高大生150円、小中生100円

休館日：月曜日（祝日の場合は開館し、翌平日休館）、
祝日の翌日

お問い合わせ先：TEL 077 (567) 0030

郷土史展

三上山の妙見さん

開催中～5月11日(日)

野洲市歴史民俗博物館（銅鐸博物館）

かつて三上

山の中腹にま
つられ、「妙
見さん」と親
しまれた妙見
堂は、文化4
年(1807)、第
4代三上藩主
の遠藤胤富が
同家の守護神
として「妙見

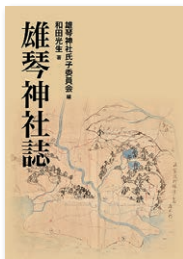
妙見菩薩立像

像高6・5cm
江戸時代

1 軀

宮」を建立したことに始まります。本展では、
31年ぶりに展示する妙見菩薩立像をはじめ、
ゆかりの資料を紹介します。

入館料：大人300円、高大生150円、小中学生100円



雄琴神社誌

雄琴神社氏子委員会編 和田光生著

A4判並製本 総80頁 非売品

問合せ 大津市雄琴二丁目10-1 (編者)

延長4年(926)創建以来、小槻氏(壬生家)の氏神として崇められてきた雄琴神社の中世から現代に至る歴史。令和8年に鎮座1100年を迎えるにあたって編纂。(2025.3.25刊)



滋賀県のお城・館一覧

横山明弘 著

A5判並製本 総192頁 2750円(税込)

滋賀県文化財保護課発行の城郭分布地図を参考作成した地図に城館や城主、築城・廃城年を追加。カラー版城館地図と横長の城館一覧、巻末索引付の便利な一冊。

『魯山人前夜 北國路を往還する福田大観』

発刊記念

「北国街道安藤家」見学会

日時 5月10日(土)

①午前の部(10:30～12:30)

②午後の部(13:30～15:30)

美食と陶芸で名を成した芸術家・北大路魯山人。福田大観と名乗った大正初期、滋賀県長浜市に逗留の際、内装を手がけた小蘭亭や篆刻作品のある「北国街道安藤家」を著者の解説付きで見学します。

「BIWAKO PICNIC BASE」にて約30分講演の後、安藤家へ移動。小蘭亭を5名様ずつで見学します。

●講師：畑中英二(京都市立芸術大学教授)

●会場：北国街道安藤家
(長浜市元浜町8-24)

●集合場所：BIWAKO PICNIC BASE
(長浜市元浜町7-5)

●料金：
淡海文化を育てる会 会員 500円(入館料)
一般 1,000円(入館料・資料代)

●定員：40名 [午前20名/午後20名]

●申込み・問合せ：淡海文化を育てる会(サンライズ出版内)
TEL 0749 (22) 0627 FAX 0749 (23) 7720
Email : info@sunrise-pub.co.jp



おとなの総合的な学習Ⅱ —東近江市鈴町の「何?ソレ?」に関する件—

奥田 守 著

B5判並製本 総114頁 非売品

問合せ 東近江市鈴町205 (著者)

古い写真に写っていたクネクネ道はどこ?
防災倉庫の前に埋まっている道路元標って何?
カイドヒマチって何?——地域の疑問を自ら調査してわかりやすく解説。(2025.3.31刊)



BOOKS 図書館巡回展

わたしのまちの自費出版



大津市立和邇図書館での展示風景



県内の図書館で、滋賀県ゆかりの自費出版物を展示します。
あわせて、第27回までの「日本自費出版文化賞」(主管：NPO法人日本自費出版ネットワーク)受賞・入選作品もご覧いただけます。

※手にとってお読みいただけますが、貸し出しは館の所蔵図書のみとなります。

4月8日(火)～30日(水)

大津市立和邇図書館 (JR和邇駅から徒歩約5分)

開館時間：10:00～18:00 休館日：火曜・4/24(木)

5月8日(木)～28日(水)

大津市立北図書館 (JR堅田駅から徒歩約15分)

開館時間：10:00～18:00(日曜17:00) 休館日：月・火曜

発刊記念講演会

『近江・坂本の町屋 旧岡本家解体記』

5月16日(金) 14:00～15:00

講師：須藤護・横田雅美(著者)

会場：道の駅びわ湖大橋米プラザ2階 コミュニティルーム薫風

料金：淡海文化を育てる会 会員 無料/一般 500円(資料代)

定員：35名

申込み・問合せ：TEL.0749 (22) 0627 (淡海文化を育てる会)

6月7日(土)～7月3日(木)

守山市立図書館[本館] (JR守山駅から徒歩約25分)

開館時間：10:00～19:00(土曜20:00) 休館日：月曜・6/10(火)～13(金)

■関連フェア開催中：平和書店 アル・プラザ彦根店・扶桑書店(アル・プラザ堅田)・平和書店 坂本店(平和堂坂本店)



近江学 第16号

成安造形大学附属近江学研究所 編
A B判並製本 総96頁 1980円(税込)

特集テーマは「座 なりわいのコミュニティ」。
歴史学・民俗学用語としての「座」の概念を、
専門的な職能を持つ人々のコミュニティにまで
広げ、田楽や猿楽の芸能集団、日野商人の大
番頭仲間などの歴史と現状を考察。

近江の古代寺院と造営氏族 発掘した遺構と軒瓦から謎を解く

小笠原好彦 著
四六判並製本 総324頁 2970円(税込)

大津宮などの宮都が営まれた近江。穴太廃
寺や衣川廃寺、崇福寺、南滋賀町廃寺などは、
誰が何のために営んだのか。在来・渡来系の
有力氏族が営んだ古代寺院の実像に迫る。



戦国大名浅井氏と家臣団の動向 北近江の中世後期における政治・社会的構造

太田浩司 著
A5判上製本 総546頁 8800円(税込)

畿内近国の北近江に生まれた浅井氏が有し
ていた東国・西国の戦国大名とは異なる性格と
は何か? 地域史料を精査し、家臣団や村落、
寺院などとの関係から、その支配の構造に迫る。

仏教から読み解く老舗企業「長寿」の不思議 ブッダの「智慧」がサステナブルな組織を育む

小倉幸雄 著
四六判並製本 総180頁 2200円(税込)

なぜ日本は世界で最も老舗企業が多いのか。
その長寿性に影響を与えた仏教についてわかり
やすく解説し、家訓に込められた仏教精神を明
らかにする。



表紙写真 守山市伊勢遺跡史跡公園の遺構展示施設内部

編集後記 伴野所長が「入口がちっとわかりづらくて、来た方が通り過ぎてしまわれることもあります」とおっしゃっていたので、位置の補足を少し。守山市伊勢遺跡史跡公園は、栗東市との境界近くにあり、栗東芸術文化会館さくらから北へ約500m、栗東市立大宝東小学校の運動場の向かいにあります。田んぼがわずかに残る何の変哲もない住宅街にあるので驚きます。取材時は茶色かった芝生公園は、徐々に緑色になっていると思います。 ⊕



淡海文庫76 魯山人前夜

北國路を往還する福田大観

畑中英二 著
B 6判並製本 総220頁 1650円(税込)

美食と陶芸で名を成した芸術家・北大路魯山人。福田大観と名乗り、北國路を往還した大正期の書画や篆刻を通して、大いなる助走の時代における魯山人の実像に迫る。

せんぼう 翳風号が空を飛んだ日 増補版 陸軍八日市飛行場前史

中島伸男 著
四六判並製本 総228頁 2200円(税込)

日本最初の民間飛行場創設に尽力した飛行家・荻田常三郎と商人・熊木九兵衛を通して、湖東平野の地方都市を活気づけた飛行機の夢の軌跡を追ったノンフィクション。



近江・坂本の町屋 旧岡本家解体記 解体から再生へ

須藤 護・横田雅美 著
A5判並製本 総240頁 2530円(税込)

大津市坂本のかつては滋賀銀行坂本出張所としても用いられた町屋の解体と旧部材を再利用した和室の施工を調査し、日本特有の町並を形成してきた町屋と職人技術の発展過程を考察。

向き合ってわかる認知症 医療従事者はこう対処する

板本千鶴 編
四六判並製本 総118頁 1760円(税込)

身の回りで「もの忘れ」「覚えの悪さ」「認知機能」が話題になっても「自分は大丈夫だ」という過信はありませんか。今日から実践したい家族や自身の認知症との向き合い方。



Duetの定期購読をご希望の方は、下記までお申し込みください。

〒522-0004 滋賀県彦根市鳥居本町655-1
サンライズ出版株式会社 Duet 編集部
TEL (0749) 22-0627 FAX (0749) 23-7720
(振替) 01080-9-61946

インターネットでDuetがお楽しみいただけます。
<https://www.sunrise-pub.co.jp/>

お申込先